
2016年12月2日（金）発行

メルマガ～開示会計を学ぶ～ Vol. 21

株式会社スリー・シー・コンサルティング

- 1 会計ニュースダイジェスト（2016年11月）
- 2 特集1 依然続く旧リース注記
- 3 ワンポイント開示会計問題演習 「連結貸借対照表関係2」
- 4 特集2 収益認識基準（3）
- 5 児玉厚の開示川柳「新潮流 残業ゼロは Creation! 」
- 6 編集後記

【PR】

新発想の予算作成システム「予算会計エクスプレス」リリース
<https://www.3cc.co.jp/system/top.php>

1 会計ニュースダイジェスト（2016年11月）

- 1) IASB 理事数を2名減員（11月30日）
（国際財務報告基準財団（IFRS 財団）定款の改正）

<http://www.ifrs.org/Alerts/Governance/Pages/constitution-amendments-announcement.aspx>

- 2) 金融庁・東証、スチュワードシップ・コード及び
コーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議の意見書
「第3弾」を公表（11月30日）
（機関投資家による実効的なスチュワードシップ活動のあり方
～企業の持続的な成長に向けた「建設的な対話」の充実のために～）

（金融庁）

<http://www.fsa.go.jp/singi/follow-up/index.html>

（東京証券取引所）

<http://www.jpx.co.jp/news/1020/20161130-01.html>

- 3) ASBJ、退職給付割引率の取扱い明確化を2017年3月までに（11月22日）
（「現在開発中の会計基準に関する今後の計画」改訂）

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/plan/

- 4) IFRS「保険契約」は2021年より(11月18日)
(下記”Agenda Paper 2H: Mandatory effective date of IFRS 17”参照)

<https://s3.amazonaws.com/ifrswebcontent/2016/IASB/November/IASB-November-Update-2016.html>

(参考: ワークプラン(11月17日付))

<http://www.ifrs.org/Current-Projects/IASB-Projects/Pages/IASB-Work-Plan.aspx>

- 5) ASBJ、法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準案公表(11月9日)
(企業会計基準公開草案第59号 意見募集期限: 2017年1月10日)

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/documents/exposure_draft/tax/

- 6) 有報等に「経営方針」の記載を追加へ(11月8日)
(「企業内容等の開示に関する内閣府令」等改正案
意見募集期限: 2016年12月8日)

<http://www.fsa.go.jp/news/28/sonota/20161108-2.html>

- 7) 財規等「退職給付に関する注記」改正案公表(11月7日)
(意見募集期限: 2016年12月6日)

<http://www.fsa.go.jp/news/28/sonota/20161107-1.html>

- 8) IASB、アジェンダ協議の結論及び今後5年間の作業計画を公表(11月2日)

<http://www.ifrs.org/Alerts/PressRelease/Pages/iasb-reveals-its-to-do-list-for-the-next-five-years.aspx>

— 【PR】 —

スリー・シー・コンサルティングの有価証券報告書等チェックリスト
開示書類の訂正防止にこの1冊
<http://www.3cc.co.jp/kaiji/checklist.php>

2 特集1 依然続く旧リース注記

現在、リース取引はファイナンス・リース取引はオンバランス(売買処理)、オペレーティング・リース取引はオフバランス(賃貸借処理)しています。

国際会計基準審議会（IASB）は本年1月にIFRS第16号「リース」を公表し、IFRSでは今後、原則としてすべてのリース取引がオンバランス化されることとなります（2019年1月1日以後開始事業年度より適用）。

一方、現在のわが国のリース取引に関する会計基準は2008年4月1日以後開始事業年度から適用が開始されました。しかし、リース取引開始日が2008年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用することができるものとされています。こうした会計処理を適用する場合にはその旨の情報を注記する必要があります。

だがそうは言っても、現行基準適用開始から既に8年以上が経過しており、改正前の条文を探すことすら困難な状況になってしまいました。こうした状況の中で旧リース注記を開示している会社、すなわちリース取引開始日が2008年3月31日以前のリース物件（以下「旧リース」）を現時点で有している会社がどれだけあるのか。またそれはいつまで続くのか。2016年3月31日決算の上場会社について調査いたしました。

* 続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

3 ワンポイント開示会計問題演習

* メルマガ読者にのみ公開しています。

4 特集2 収益認識基準（3）

前号では仮にIFRS第15号と同一の内容がわが国に適用された場合の論点を、事例形式でご紹介しました。

今号では、IFRS第15号の開示における要求事項を、チェックリストの形式でご紹介します。下記資料をご覧ください。

* 続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

5 児玉厚の開示川柳

* 児玉厚（株式会社スリー・シー・コンサルティング 代表取締役）による「開示川柳」をお届けしております。

「 新潮流 残業ゼロは Creation! 」

電通の過労死事件が大きな社会問題になっている。

電通が失った「ブランド価値」は測り知れない。

「残業をゼロにすること」が経営の重要なミッションになってくるだろう。

日経新聞でこんな記事を目にした。

* 続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

6 編集後記

* メルマガ読者にのみ公開しています。

メルマガの登録変更及び購読解除について

当メルマガの登録情報のご変更や購読解除をご希望の方は、
以下のアドレスより手続きをお願いします。

(登録情報のご変更)

<https://1lejend.com/stepmail/edit.php?no=xxzzkh>

(購読解除)

<https://1lejend.com/stepmail/delf.php?no=101100>

メルマガの記載内容等に関するお問い合わせ

当メルマガの記載内容等に関するお問い合わせがございましたら、
以下のメールアドレス又は電話番号よりご連絡願います。

kaijikaikei@3cc.co.jp

TEL : 03-6863-7208 (担当 : ディスクロージャーサービス戦略室)

発行 : 株式会社スリー・シー・コンサルティング

〒171-0033 東京都豊島区高田 3-14-29 KDX 高田馬場ビル 7 階

URL : <http://www.3cc.co.jp/>

Copyright (c) Three C Consulting Co., Ltd. All Rights Reserved.